

株式会社 モスフードサービス

証券コード：8153



モスの株主通信

第50期 第2四半期報告書 2021年4月1日～2021年9月30日



社長メッセージ

多様化するお客様ニーズに柔軟に対応。
モスならではの「おいしさ」「楽しさ」を
これからも提供し続けます。

代表取締役社長

中村 栄輔



Q

上期の営業状況と通期業績の見通しについてお聞かせください。

A

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済・社会活動の停滞が続いています。特に外食産業では、営業時間短縮要請への対応や消費者の生活様式の変化による影響を強く受けており、引き続き、厳しい経営環境に置かれています。このような中、当社グループはお客様と従業員の安全・安心の確保を第一に感染拡大の防止に努めながら、新しい生活様式や地域社会に寄り添った商品・サービスを提供するなどの施策に取り組みました。こうした取り組みによって、国内モスバーガー事業では、店内飲食は減少したものの、テイクアウトやデリバリーなどの売上が好調に推移し、既存店売上高はすべての月で前年実績を上回りました。

上期の連結業績は、売上高が385億42百万円（前年同四半期比14.5%増）、営業利益21億8百万円（前年同四半期は営業損失1億53百万円）、経常利益21億38百万円（前年同四半期は経常損失1億76百万円）となり、最終損益は主に新型コロナウイルス感染症に係る助成金収入4億55百万円、減損損失1億18百万円、税金費用4億98百万円等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益19億73百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失7億7百万円）となりました。

通期業績については、売上高760億円（前期比5.6%増）、営業利益26億円（前期比82.8%増）と予想しています。中間配当金につきましては、前年同期比1円増配となる12円とさせていただきます。期末配当についても増配となる16円（普通配当14円+創業50周年記念配当2円）と予想しています。

Q 各事業での重点的な取り組みについて
ご紹介ください。

A 国内モスバーガー事業では、多様化するお客様ニーズへの対応として、ドリンクメニューやデザートを豊富にそろえた「モスバーガー&カフェ」の出店を進めているほか、テイクアウト専門店や小型店舗など多様な店舗形態を展開しています。コロナ対応として力を入れてきたテイクアウト強化では、ドライブスルー店舗での売上増加や、デリバリーの導入店舗を増やした結果が着実に収益に結びついており、今後もITの活用やオペレーションの改善などを通じて利便性や生産性のさらなる向上を図ります。このほか、SNSの活用やスマホアプリの提供といったデジタル対応に注力しており、WEB会員が順調に増加しています。

海外事業ではwithコロナ時代への対応として、各国の感染状況などに応じた出店戦略をとっており、デリバリー専門店の出店、非接触型店舗の実験運用などにも取り組んでおります。当期は37店舗の出店を予定しており、期末の海外店舗数は450店舗となる計画です。

その他飲食事業でも、レストラン事業を中心にコロナ禍による影響が今後も続くこととみられることから、テイクアウトやデリバリー、物販などの強化に取り組み、新たな需要の開拓を進めています。

モスブランドを活用した新事業展開にも積極的に取り組んでいます。物販として菓子類やアパレルなど様々なジャンルでコラボレーション商品を投入、また週末の朝ごはん向けに食パンを販売し、多くの反響をいただきました。今後も外食市場に留まらず、モスブランドを活用した幅広い事業展開によって、収益源の多様化につなげたいと考えています。

なお、2022年3月期を最終年度とする中期経営計



画については、2019年度より発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により大きな影響を受け、最終年度の計画目標の達成が困難となったことから、取り下げさせていただきます。目標数値以外の各種施策については、引き続き従来以上のスピード感をもって取り組んでおります。2022年4月から始まる新たな中期経営計画については、策定次第速やかに公表させていただきます。

Q 株主の皆様へのメッセージを
お願いします。

A コロナ禍という未曾有の事態によって、当社グループも大きなダメージを受けました。しかし当社グループはこの辛い経験を通じて、モスの店舗や商品を必要とくださるお客様が多くいらっしゃることで、そしてこれからも、食べる楽しさやくつろぎの時間を提供できる店作りを追求し続けるという使命を、改めて実感いたしました。今後も、事業環境の変化に柔軟に対応し、持続的な成長と企業価値の向上を図り、さらなる発展を目指してまいります。

株主の皆様には引き続き当社の事業活動に対するご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

国内モスバーガー事業の取り組み

お客様の意識や社会環境が変わる中においても、商品の魅力を高める取り組みや、地域に密着した店舗運営を大切に、新しい価値観の提供に努めています。

今年の夏は“辛い”だけじゃない！「モスのスパイスサマー」 「クール スパイストマト」「クラフトコーラ」 「ホット スパイスモスチキン」

暑い夏の季節、辛さにこだわった商品は、辛いもの好きなお客様に大変ご好評いただいています。そこで2021年の夏は、「モスのスパイスサマー」と題して“辛さ”だけではなく、スパイスにこだわった“刺激的”な商品を発売しました。スパイス感の異なる3つの商品は、それぞれが引き立てあうように設計し、組みあわせの相性も考え開発しました。 ※現在は販売を終了しています。



クール スパイストマト

夏に旬を迎えるトマトをおいしく召し上がっていただきたく開発した商品です。輪切りにした生のトマトに、スパイスの効いたトマトベースの冷製ソースをあわせ、夏にぴったりの爽やかでキレのある辛さのハンバーガーに仕上げました。

クラフトコーラ

コーラの原点である希少なコーラナッツなど7種のスパイスをブレンドし、抽出したエキスを使用。暑い時期に飲みたいたスパイシーな味わいです。



ホット スパイスモスチキン

米粉入りの衣でサクサク食感のモスチキンに、数種類のスパイスを使ったモスオリジナルのスパイスオイルをかけて辛口に仕上げました。

累計4,000万食以上を売り上げた大人気シリーズが7年ぶりに復活！

「フォカッチャサンド ばていけい 馬蹄型ソーセージ&グランピングソース」

コロナ禍で行動が制限される中、“食べたら、気分はアウトドア。”をキーワードにグランピングのワクワク感やおうち外食の楽しさをご提供するべく開発した商品です。今回使用したフォカッチャは、粉の配合・形ともにモスオリジナルのもので、歯切れ良くふんわりとした食感を出しました。さらに、ヨーグルトと塩麴を入れることで、しっとりとした焼き上がりに仕上げました。



※現在は販売を終了しています。

動物性食材や五穀^{ごく}を使用しない“環境と身体に優しいバーガー”第2弾

「グリーンバーガー〈テリヤキ〉」



新開発した専用ソースのポイント

テリヤキソースは、てんさいを原料とした上白糖を使用し、あっさりとした甘みを出し、マスタードとブラックペッパーでキレを出しました。グリーンマヨソースはマヨネーズの主原料である卵にかわるココを出すために枝豆を配合し、イメージカラーである緑色のソースに仕上げました。

モスが元祖の「テリヤキバーガー」を動物性食材を使わずに表現しました。使用するテリヤキソースとグリーンマヨソースは、本商品のために新たに開発した、動物性食材及び五穀^{ごく}*1不使用のソースです。また初採用のパッケージ^{※2}でソースを別添えでご用意。お客様がソースの量を自由に調整することができるため、ご自身のお好みの味にカスタマイズしながらお楽しみいただけます。

※1 仏教などで食を禁じられている臭いの強い5種の野菜（ねぎ、らっきょう、ニラ、にんにく、たまねぎ）。
 ※2 調味料などを片手で手を汚さずに素早くかけられる容器。

タレントでファッションモデルの近藤千尋さんを起用したCM「ギャップの魅力」篇を全国放映

モデルという職業柄、普段から食生活にも気を遣っている近藤千尋さんにご出演いただくことで「グリーンバーガー〈テリヤキ〉」のテーマである“ゆる～いパラソ生活”を体現していただきました。本CMは当社の公式YouTubeチャンネルでも公開いたしました。



「まぜるシェイク」 全国リレー企画も ついにゴール

- 第2弾 「ベニほっぺ〈愛知〉」「ル レクチエ〈新潟〉」
- 第3弾 「赤肉メロン〈北海道〉」「湘南ゴールド〈神奈川〉」
- 第4弾 「アップルマンゴー〈宮崎〉」「ぶどう〈長野〉」

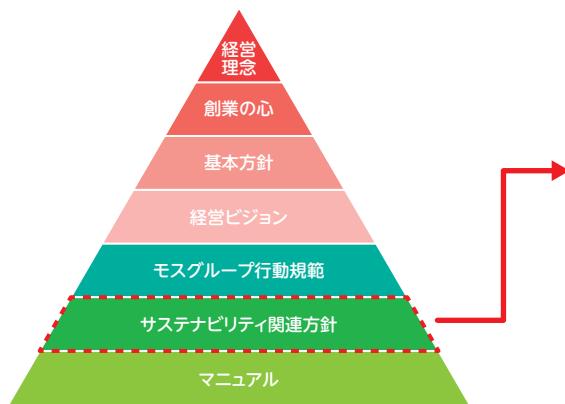
北は北海道から南は九州、沖縄までを全国8エリアに分けて、地域食材を使用した「まぜるシェイク」を全国で販売するリレー企画も、当上半期に展開した第2弾「ベニほっぺ」「ル レクチエ」、第3弾「赤肉メロン」「湘南ゴールド」、第4弾「アップルマンゴー」「ぶどう」でついにゴール。地元はもとより全国各地でご好評いただきました。 ※現在リレー企画は終了しています。



サステナビリティ経営の実現に向けた方針を策定

当社では、このたび新たに「サステナビリティ関連方針」として「モスグループ人権方針」「モスグループ環境方針」「モスグループCSR調達方針」の3つの方針を策定・改訂しました。モスグループの理念・行動体系にESGの視点を明確に組み込むことで、社会的責任を重視しつつ持続的な企業価値向上を目指す経営を進めていきます。またモスグループでは、2℃と4℃の2つの気候変動シナリオ分析を実施し、2030年までの社会を考察して事業影響を検討しました。今後は2050年までの中・長期的影響についても検討を進めていきます。

モスグループの理念・行動体系



今回の「サステナビリティ関連方針」「気候変動への対応」に関しては、モスフードサービス企業サイトの関連ページをリニューアルし、3月31日より公開しています。

<https://www.mos.co.jp/company/csr/>

サステナビリティ関連方針

モスグループ人権方針(新規策定)

「差別」や「ハラスメント」はもとより「強制労働と児童労働」「労働安全衛生」などの人権課題を重要な項目と認識し、持続可能な事業活動を行う企業として国際的な原則に基づいた人権尊重の取り組みを進めます。

モスグループ環境方針(改訂)

当社では2003年に「環境方針」を策定しこれを遵守してきました。今回、社会的要請に照らし合わせ「生物多様性」に関する項目を追加し、「モスグループ環境方針」を改訂しました。

モスグループCSR調達方針(新規策定)

「モスバーガーグリーン調達ガイドライン」に今回策定した人権方針をベースとする労働人権配慮の内容を加え、公正取引や環境保護とともにサプライチェーン全体に対する「モスグループCSR調達方針」を策定しました。

モスグループの理念に基づく最近の主な商品事例 (地域限定商品を含む)

※現在は販売を終了しています。



出荷量が落ち込む漁協を支援
「日本の生産地応援バーガー 真鯛カツ
(愛媛県愛南町)」



東京の農業を応援
「まぜるシェイク 東京小平ブルーベリー」



“東北応援”企画を今年も開催
「東北産豚の秋田みそ焼きバーガー」(写真左)
「東北産豚の秋田みそ焼きライスバーガー」(写真右)



Withコロナ時代への対応・取り組みを継続推進

遠隔操作による自走式分身ロボット

「OriHime Porter」(オリヒメポーター)を実験導入



モスバーガー大崎店で7月末から約1ヶ月間行った今回の実験では、社会的ハンディキャップにより外出困難な方がパイロットとして「OriHime Porter」*を遠隔操作し、フードメニューを店舗スタッフから受け取り、お席でお待ちのお客様にお声がけをしながら移動し、商品をお届けしました。当社では、これからも時代にあったモスバーガーらしいホスピタリティの形を追求し、テクノロジーを活用しながら、人ならではのあたたかみのある接客について研究を続けていく方針です。

*「OriHime」は株式会社オリエィ研究所の登録商標です。

ご参加いただいたパイロットの声

(ご参加当時にいただいたお声です)

高橋 茜さん (パイロットネーム: Akaneさん)

秋田県在住です。大学を卒業してすぐ慢性疲労症候群 (ME/CFS) という病気になり、OriHimeパイロットになるまではずっと自宅療養をしていました。仕事を始めてからは毎日が新鮮でとても楽しいです。最近、家族が後輩になりました。



全国の赤十字病院へ 「ありがとうブルーチケット」を進呈

当社では7月、新型コロナウイルス感染症への対応を最前線で行っている医療関係者の皆様へ敬意と感謝の気持ちを込めて、全国85の赤十字病院へハンバーガーと引き換え可能な、「ありがとうブルーチケット」を合計約73,000枚進呈しました。またチケットは、医療関係者の皆様へ感謝の気持ちを表現するため、シンボルカラー*であるブルーのデザインとしました。



*イギリス国営医療サービスのシンボルカラーがブルーであることから、ブルーライトアップの取り組みなどが世界中で広がっています。

全社員にワクチン接種のための 特別休暇を付与 直営店舗のキャストには ワクチン接種の特別手当

2021年6月から2022年2月まで(予定)の期間、モスグループでは全社員ならびに介助が必要な親族などがワクチンを接種する場合、特別休暇「ワクチン休暇」を付与しています。また直営店舗のキャスト(社会保険加入者)については、接種日および体調がすぐれない場合は翌日も含め、就業したとみなす手当を1日につき3,000円支給しています。

TOPICS

2021年度上期の主なトピックスをご紹介します。

「ひんやりドルチェ 苺ショコラ」*1



ホワイトチョコレートベースの苺の層と、カカオ分57%のクーベルチュールチョコレートを使用した層を組み合わせた2層仕立てのスイーツです。

「ひんやりドルチェ カップ 木いちご」

アーモンドプードルの香ばしさ、豆乳クリームのもるやかな甘さに、フランボワーズソースの甘酸っぱさが全体を引き立てたスイーツです。



「まるごと!レモンのジンジャーエール with 甘夏ソース」*1

熊本県産の甘夏を使ったソースは、甘夏を皮からまるごとすりおろし、果汁とさのうを加えることで甘夏の風味を凝縮させました。



4月



5月



6月



「2021年度淡路島産たまねぎ祭り」を開催*1

今年は、特に販売要望の高い関西地域限定で「淡路島のこだわり農家さんがつくった たまねぎバーガー 和風しょうゆ仕立て」「淡路島のこだわり農家さんがつくった たまねぎバーガー 和風しょうゆ仕立てチーズ入り」を期間限定販売しました。



「海老カツ オマールソース」*1

オマール海老から抽出したオイルと濃縮調味料をベースにしたオマールソースを、海老のむき身をふんだんに使用しサクッと揚げた海老カツと合わせた、「海老で海老を食べる」リッチな味わいのハンバーガーです。



リクエストにお応えして今年も登場! 「クリームチーズテリヤキ」*1

マヨネーズタイプの代わりにクリームチーズを使用し、味噌と醤油をベースにした和風のテリヤキソースと、洋風のクリームチーズの絶妙な組み合わせが楽しめるハンバーガーです。



モスブランドを活用した他社とのコラボレーション商品など物販の拡大

「ユナイテッドアローズ グリーンレーベルリラクシング」とのコラボ

キッズ向けの帽子、Tシャツ、バッグ、エプロンを発売。コラボ商品に使用するイラストは「グリーンバーガー」をモチーフに、イラストレーターのイソガイヒトヒサさんに描いていただき、着ているだけでテンションが上がること間違いなしのスペシャルなアイテムに仕上がりました。 ※現在は販売を終了しています。



UHA味覚糖とのコラボ商品 「つむモスグミ」第2弾登場

「つむモスグミ」はパンズ、パティ、トマト、レタス、チーズ型のグミを積み上げて遊べる商品です。第2弾となる今回、パイン味のチーズ型が仲間入りし、新たに「チーズバーガー」を作ることができるようになりました。

※現在は販売を終了している店舗がございます。



※1 現在は販売を終了しています。

「道みんの日」に合わせ 北海道内限定企画を実施 「くだものと野菜」を無料進呈

7月17日の「道みんの日」に、道内のモスバーガー46店舗で先着100名様へモスの野菜ジュース「くだものと野菜」をプレゼントしました。



モスワイワイセットに「ピスケ&うさぎ」「ねーねーねこ」が初登場! 「カナヘイの小動物」コラボおもちゃ※1

「カナヘイの小動物」は、人気イラストレーター・漫画家「カナヘイ」さんが手がけるキャラクターです。9月22日～11月上旬の期間限定で、お子さま向けセットや低アレルギーメニューのセットに「カナヘイの小動物」とコラボレーションしたおもちゃをご提供しました。



カナヘイ
ジッパーバッグ

カナヘイ
スクエアポーチ



ワイワイ
チーズバーガーセット

カナヘイメモセット



7月



8月



9月



埼玉県初出店から45周年記念 「まぜるシェイク 埼玉県産いちご」※1

埼玉県にある所沢北田農園さまで採れたいちごを使用した果肉入りシロップと、モスのバニラシェイクを合わせました。シロップには、スーパーフードといわれているチアシードを入れていちごの種にみたく、ぶちぶちとした食感を楽しめます。



「まぜるシェイク 宮城県産いちご」※1 売上の一部を被災3県の団体へ寄付

“モスバーガーが東北を元気にする”をテーマに、2018年より東北産食材を使用したシェイク商品を毎年販売しています。さらに今年には、東日本大震災から10年の節目に被災地への復興支援として、本商品の売上の一部を、東日本大震災みやぎこども育英募金、岩手県庁、福島県庁へ寄付しました。



海外

海外で高いブランド力をもつ 「獺祭」とのコラボで 日本の味をアピール

「獺祭」(甘酒)との相性が良いライスバーガーと蒟蒻ドリンクで5つのコラボ商品を開発。台湾、シンガポール、香港の3つの国と地域のモスバーガー店舗にて、各国・地域の味覚の特徴に合わせたメニューを提供しました。



「MOS ライフスタイルグッズ」限定販売

7月よりオリジナルデザインのダブルタンブラーやロケットサーモボトルなど、身近なエコアイテムのシリーズ「MOS ライフスタイルグッズ」の販売を開始しました(店舗限定・数量限定)。ラインアップは「ダブルタンブラー」「ロケットサーモボトル」「ポケットスクエアバッグ」「オリジナルエコバッグ」「バンパーカトラリーセット」の5アイテム。どれも繰り返し使用できる実用的なグッズで、使い捨てプラスチック削減にも貢献します。 ※商品がなくなり次第終了します。

ロケットサーモボトル

持ち運びしやすい細身のシルエットで、ドリンクの温度をキープするステンレス製のサーモボトルです。毎日持ち歩く水筒として活躍します。



ポケットスクエアバッグ

格子状にプリーツ加工を施したシンプルなデザインです。プリーツ加工により簡単にカードサイズ相当まで折りたたむことができます。

連結決算ハイライト

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期 (予想)
売上高	34,208	68,985	33,674	71,972	38,542	76,000
売上総利益	17,259	34,231	16,016	34,170	18,761	—
営業利益又は営業損失(△)	900	1,060	△153	1,422	2,108	2,600
経常利益又は経常損失(△)	976	1,232	△176	1,427	2,138	2,600
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	402	365	△707	997	1,973	2,200
純資産	45,488	45,100	43,956	45,338	47,718	—
総資産	63,331	64,348	62,399	64,827	67,396	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,800	5,661	327	4,399	5,133	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11	△401	768	45	308	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,011	△2,465	△1,252	△2,719	△2,116	—
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	11,020	12,056	11,876	13,744	17,172	—

各事業内容

モスグループは「食を通じて人を幸せにすること」という経営ビジョンのもと、国内モスバーガー事業、海外事業、その他飲食事業の3つの事業と、それらを支援するその他の事業を展開しています。

国内モスバーガー事業

標準タイプの「モスバーガー」のほか、カフェタイプの「モスバーガー&カフェ」など新たな形態の店舗展開も進めています。



1,251店舗

海外事業

9つの国と地域（台湾、シンガポール、香港、タイ、インドネシア、中国、オーストラリア、韓国、フィリピン）で展開しています。



437店舗

その他飲食事業

紅茶専門店「マザーリーフ」、フードコート向けの Pasta 専門店「ミアクッチーナ」など、新たなFC店舗モデルの開発を進めています。



26店舗

その他の事業

㈱エム・エイチ・エス（衛生検査）、㈱モスクレジット（金融・保険）、㈱モスシャイン（アウトソーシング）が、グループ内の事業・業務を側面から支援しています。



特例子会社 ㈱モスシャイン

※店舗数：2021年9月30日現在

会社・株式情報

(2021年9月30日現在)

会社概要

商号 株式会社モスフードサービス
MOS FOOD SERVICES, INC.

設立年月日 昭和47(1972)年7月21日

資本金 114億1,284万円

主な連結子会社 株式会社モスストアカンパニー
株式会社エム・エイチ・エス
株式会社モスクレジット
株式会社モスシャインなど10社
他に、持分法適用会社11社

役員

代表取締役 取締役社長 中村 栄 輔

取締役常務執行役員 福島 竜 平

取締役常務執行役員 内田 優 子

取締役上席執行役員 太田 恒 有

取締役(社外取締役) 高岡 美 佳

取締役(社外取締役) 中山 勇

常勤監査役 永井 正 彦

常勤監査役 臼井 司

監査役(社外監査役) 村瀬 孝 子

監査役(社外監査役) 藤野 雅 史

株式の状況

発行可能株式総数 101,610,000 株

発行済株式総数 32,009,910 株

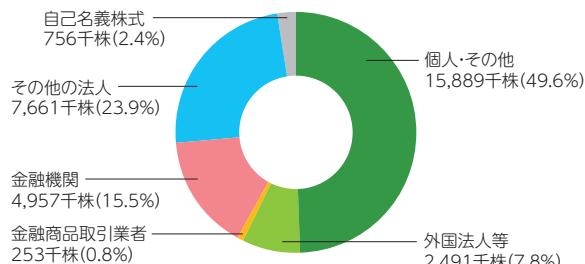
株主数 39,940 名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,365	7.57
紅梅食品工業株式会社	1,400	4.48
株式会社ダスキン	1,315	4.21
株式会社ニッソー	1,214	3.89
日本生命保険相互会社	1,209	3.87
株式会社日本カストディ銀行	757	2.42
山崎製パン株式会社	718	2.30
株式会社三菱UFJ銀行	435	1.39
日本ハム株式会社	431	1.38
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	393	1.26

※当社は自己名義株式を756千株保有しておりますが上記の大株主より除外して
います。

所有者別株式分布状況



株主インフォメーション

株主優待制度

所有株式数に応じて、全国のモスグループ店舗*及びミスタードーナツ店舗（一部店舗除く）で利用できる株主優待券を、年2回ご提供しています。

*モスグループ店舗:モスパーカー、モスプレミアム、モスド、マザーリーフ、カフェ 山と海と太陽、ミアクッチーナ、あえん、シェフズブイ など。
※株主優待券は、モスカードのMOSポイントに交換することができます。

発行月 6月、11月（予定）

対象基準 単元株（100株）以上の株式を所有している方が対象となります。6月発行分は、3月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。11月発行分は、9月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。

優待内容 100株以上300株未満
年間2,000円分（500円×2枚を年2回）
300株以上500株未満
年間6,000円分（500円×6枚を年2回）
500株以上1,000株未満
年間10,000円分（500円×10枚を年2回）
1,000株以上
年間20,000円分（500円×20枚を年2回）

有効期限 6月発行分 翌年3月末日まで
11月発行分 翌年9月末日まで

株式についてのご案内

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金基準日 3月31日

中間配当金基準日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人、
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告による

公告掲載URL
<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/8153/8153.html>

（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告します。）

PICK UP!!

横浜市子ども専用スポーツ施設
ネーミングライツを取得



「仲町台スポーツパーク」
Supported by モスパーカー

同施設の“グローバル社会で活躍する未来の人材を輩出する”という目標と地域貢献の姿勢に賛同し、ネーミングライツを取得しました。今後は長年取り組んできた食育プログラムの知見を活かし、子どもたちに食の楽しさを伝える取り組みを拡充していきます。

統合報告書として2号目を発行

MOS REPORT

（モスグループ統合報告2021）



今回のレポートでは、モスグループのマテリアリティに各KPIを設定し、より重点的に取り組む課題を明確にしました。また、アフターコロナを見据えた対応方針やそれに対応した財務戦略も記載しています。



<https://www.mos.co.jp/company/csr/report/>



この冊子の印刷には、グリーン電力を一部使用しています。